

2010年9月9日

各位

電気自動車の試験導入について －地球温暖化防止対策の更なる推進に向けて－

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：永山 治〕（以下、中外製薬）は、地球温暖化防止に向けた取り組みを推進するため、2010年9月8日より、鎌倉事業所に電気自動車（三菱自動車製 i-MiEV）を試験導入したことをお知らせいたします。

中外製薬では、地球温暖化防止対策として2012年までにMRが使用する車両の50%をハイブリッドカーにするという目標を掲げ、製薬業界の中でもいち早く2003年からハイブリッドカーの導入に取り組んで参りました。その結果、2010年7月末現在の導入台数は522台となり、MRが使用するリース車両の約30%を占めております。

今後更なる対策を推進するため、電気自動車を試験導入し、利便性・経済性などの実用性も調査し、本導入の可能性について検討していく予定です。また、富士御殿場研究所、中外製薬の100%子会社である中外製薬工業株式会社の藤枝工場にも順次試験導入することを計画しております。なお、これら3台の導入によりCO₂排出量を年間およそ8トン削減できると見込んでおります。

中外製薬は日本のトップ製薬企業になることを目指し、革新的な医薬品やサービスの提供のみならず、地球環境に配慮した社会貢献活動にも積極的に取り組んで参ります。

以上

